

学力かくにんプリント・2年3学き 国語②

なまえ

点

⑤	③	①
	④	②

- ⑤ あたらしいふく。
- ④ こたえをかんがえる。
- ③ となりのこうえん。
- ② きいろのハンカチ。
- ① ながいぼうをもつ。
- ② つぎの——のかん字をかきましよう。
(くは)はおくりがなも書きましよう。(5点×5)

⑤	③	①
	④	②

- ⑤ 先生に知らせる。
- ④ みちを教える。
- ③ 学校に行く。
- ② いすの数。
- ① 月の光。
- ① つぎの——のよみがなをかきましよう。(5点×5)

ある日、おばさんねずみがやってきました。むすめのねずみにえんだんをもってきたのでした。「みんなもうしぶんのないかたばかりですよ。」といって、おみあいしゃしんをどっさりつみ上げました。

おとうさんねずみはおこって、「うちのむすめは、せかい一のむすめだ。せかいで一ばんえらいかたのところへやるのだ。そんじょそこのねずみになんかよめにやれん。」と言いました。
おばさんねずみはおこってかえっていききました。

むかしむかし、あるところに、なかのよいねずみのふうふがすんでいました。長いあいだ子どもにめぐまれました。したが、とうとう赤ちゃんが生まれました。「なんてかわいんでしょう。」ねずみのふうふは、女の赤ちゃんが生まれたことを、とてもよろこびました。

女の子はとても大せつにされ、やがてやさしくきれいなむすめになりました。「そろそろおむこさんをさがさないかね。」とおかあさんねずみが言うとお父さんねずみは、「まだはやい。」と、ふきげんそうにこたえました。

そのよる、おとうさんとねずみとおかあさんねずみは、はなしあいました。「はてさて、せかいで一ばんえらいおかたはだれだろう。」と、おとうさんねずみが言いました。
「そりゃ、お日さまが一ばんえらいとおもいますよ。」と、おかあさんねずみが言いました。
「なるほど、なるほど。」とおとうさんねずみはうなずきました。

③ 話がつながるよう「□」の中はなをいっつを書きましよう。(10点×5)